



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第9号

1990(平成2年)9月号

編集発行

(財)栃木県国際交流協会

Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階・3階

T E L (0286)21-0777(代)

F A X (0286)21-0951



鹿沼・泣き相撲

“泣き相撲”は、鹿沼・生子神社の秋の例大祭で、例年9月下旬の日曜に行います。社前に土俵を作り、力自慢の氏子が力士に扮し、幼児を抱き上げて「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声とともにゆすりあげ、先に泣いた方を勝ちとするものです。これは、「泣く子は育つ」という縁起をかつて、本県では珍しい祭りの行事です。

Crying Competition (Naki-zumo; "Baby Sumo")
Naki-zumo, or the crying competition is held at Ikiko shrine in September during the autumn grand festival. The Dohyo ring is made in front of the shrine.

Strong parishioners dress as sumo wrestlers, holding a baby, and shake the baby shouting as “YOISHO, YOISHO.” The baby who cries first

is the winner. This is based on Japanese superstition “a crying child grows to be healthy and strong.” This festival is unique and famous in Tochigi.

Place : Ikiko Shrine

Transportation : 15min. walk from Tobu Momiyama Station

今号の主な内容

- 知事のフランス訪問
- 第2回アジアのタベ～夢浪漫・インド～
- '90国際交流キャンプinばとう
- とちぎインターナショナル
フェスティバル'90 INFORMATION

渡辺知事のフランス訪問

南フランスにあるヴォークリューズ県とは、昭和63年に新宿で開催されたマロニエフェスティバルをきっかけとして交流が始まり、昨年10月には、ジャン・ガルサン議長（日本の知事に相当）が来県されました。

また、パリの南にあるロワレ県とは、昨年10月にクレペール・マレコ議長が来県されたことから交流が始まりました。

このような中で、両県の議長からの強い訪問要請を受け、去る6月18日から6月27日まで、渡辺知事がフランスを訪問されました。

両県への訪問は、ヴォークリューズ県が6月19日から21日の3日間、ロワレ県が22日から23日の2日間という大変忙しい日程で行われました。

ヴォークリューズ県は農業を産業の中心とし、古い歴史を基にした文化・観光資源に恵まれ、ラテン的性格を有する県であり、県都アヴィニョンはパリの南約700kmに位置し、14世紀にはローマ法王庁が置かれたところです。

同県滞在中、19日にはガルサン議長自らアヴィニョン市内を案内して下さいました。20日にはワインで有名なシャトースフ・ドゥ・パープ、紀元前の円形劇場や凱旋門が当時のまま保存されているオランジュなどの視察を行ったほか、昨年10月に同県で行われた本県婦人の海外研修団員のホームステイの際にお世話頂いたホストファミリーの方々をお招きし、知事主催のパーティを開催しました。更に21日にはガルサン議長と今後の交流について会談するとともに、同県議会議員やアヴィニョン市長、宮崎マルセイユ総領事などの関係者の方々にお集まり頂き、ガルサン議長とともに今後の両県の交流について、人、文化、産業のあら

ゆる面において相互の友好関係を築いて行きたいとの共同声明の発表を行いました。この3日間の同

県滞在中、19日及び20日の両日、栃木県議会の代表として神谷正二議員、田野辺充男議員が知事と行動を共にされました。

他方、ロワレ県は本県と共通する立地条件を持ち、工業開発に力を入れている、ヨーロッパ経済を敏感に反映する県であり、県都オルレアンはジャンヌ・ダルクゆかりの地であるとともに、昨年宇都宮市との間で姉妹都市の提携をしたところです。



▲両県の県政について熱心に話し合うロワレ県議会マレコ議長（写真左）と渡辺知事。（写真右）

同県の滞在は2日間という極めて短い期間でしたが、両日ともにマレコ議長を含めた同県議会の幹部の方々と両県の県政について熱心な討議が行われたほか、マレコ議長との会談では、両県の交流はまだ日が浅いので、今後両県にとって実のある交流を推進するためには、互いに知り合うことが第一であるという点で意見が一致しました。

今回訪問した二県は、同じフランスにありながらそれぞれ性格を異にしており、今後これらの県との交流を更に推進していくことは、本県にとって非常に有意義であると考えられます。今回の知事の訪問により本県とこれら二県との友好関係が更に深まり、今後の交流が一層実のあるものになることと確信しております。

（県国際交流課・浅香記）



▶ 19日にヴォークリューズ県議会の出席前でガルサン議長（写真中央）を受けた渡辺知事一行。

第2回アジアのタベ～夢浪漫・インド～

去る8月28日(火)、佐野市文化会館小ホールで、(財)栃木県国際交流協会と栃木県インドカシミール友好協会の共催による「第2回アジアのタベ～夢浪漫・インド～」が開催されました。

今年のテーマはインド。映画・舞踊・展示と盛り沢山の内容に、観客は夢とロマンの国“インド”の気分を満喫しました。



▲財栃木県国際交流協会・推津弘之理事長のあいさつ

各展示コーナー



▲インドの物産・パネル写真を展示したコーナー。みんな興味深そうに眺めていました。



▲アジアの国々のポスター・パンフレットを、展示・配布したコーナー



▼インド関係図書の販売コーナー

舞踊と音楽



▲ヤクシィ・矢沢さんが踊る北インド古典舞踊「カタック」。美しい動き(特に手の動き)や豊かな表情に、印度舞踊の奥深さを感じました。



◀2人で踊る「カタック」。中島さちさん(右)と加藤由里子さん(左)の息はピッタリ。



▶インドの撥弦楽器「シタール」を演奏する中山仁グループ。神秘的な音色で観客を魅了しました。

ようこそ とちぎへ

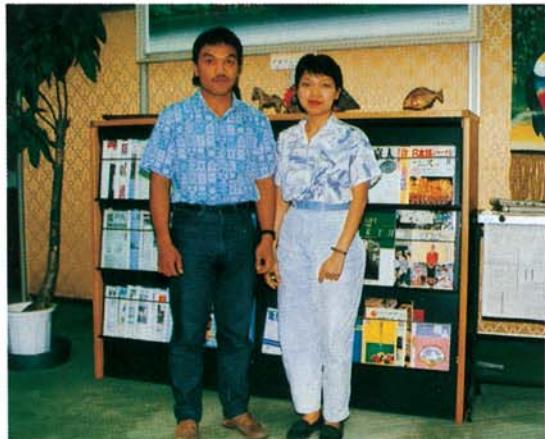
インドネシア出身

リリク・プジャントロさん(28歳) 写真左

クリスタ・プジャントロさん(25歳) 写真右

〈プロフィール〉

リリクさんは宇都宮大学農学部農業開発工学科営農技術研究室の大学院1年生。昨年の4月に来日し、東北大の日本語研究コースで半年間日本語の勉強をした後、10月に宇都宮大学に入学。現在、奥さんのクリスタさんと生活している。



「いい先生になって、インドネシアで日本の農業技術を伝えたいですね」

——インドネシアでは何をしておられたのですか。
リリク ボゴル農業大学（ジャカルタ南60km）で助手として働いていました。日本へは国費留学生として来ました。

——宇大ではどんなことを勉強しているのですか。
リリク 今やっている内容は、CA (Controlled Atmosphere) 貯蔵という農業における環境管理についてです。とても興味がありますね。できればこのまま勉強を続けて、博士課程まで進みたいと思っています。

——日本での生活で苦労することはありますか。



▲友人の家で「ひなまつり」。きれいな人形に思わずピックリ！

リリク いいえ、別にありません。研究室の仲間や宇都宮のボランティアの人々は、とてもやさしいし、生活面いろいろサポートしてくれます。

あっ、そういえば物価が高いですね。特に食べ物が。日本に来た頃は、自販機の缶ジュースを買うのもためらってしまいました。ジュース1本のお金は、インドネシアの一日分の食事代ですからね。

——ところで、お二人の出会いは…。

クリスタ 知り合ったのは大学生のとき。彼がボゴル大学の4年生で私が2年生でした。

——クリスタさんは、インドネシア舞踊をやってらっしゃるそうですが。

クリスタ ウィラ・ペルティウイ（“女性の軍隊”的）という闘いの踊りで、弓を持って鮮かな色の服を着て踊ります。これはジャワ島の踊りなんですが、島によって踊りの内容は全然違うんですよ。

——ぜひ、今秋に開催します「とちぎインターナショナル・フェスティバル'90」でその踊りを披露して下さい。それでは最後に、リリクさんの今後の目標をお聞かせ下さい。

リリク もっともっと勉強して、日本の農業技術をインドネシアに伝えたいです。それと、生徒に信頼されるようないい先生になりたいですね。

ご婚礼・ご宴会・パーティーに
セレモニーホール センチュリー

へいあん

TEL.0286-48-1122

宇都宮市鶴田町（平成・鹿沼インター通り沿）



こちら国際交流最前線

宇都宮ユネスコ協会

宇都宮ユネスコ協会の前身、宇都宮ユネスコ協力会は、1949年（昭和24年）の末に発足しました。その当時、日本は国際舞台に復帰していない時代でした。戦後初めての国際機関に加盟できたのがユネスコだったのです。1964年（昭和39年）7月当時、

「国際理解教室」

東京ドイツ学園の子どもたちを招いての「子ども国



足利ユネスコ協会（会長・荻野英二氏）のご尽力によって、宇都宮ユネスコ協会（会長・上野俊三氏）が誕生しました。

「世界を知ろうユネスコ子ども教室」は、国際青年年の時に集まった若い人々の力によって始められた、当協会の新企画であります。人と人との出会い、大自然との出会い、日本の文化そして外国の文化との出会い…など多くの出会いや体験を通じて、いつか子ども達の心が広く大きく成長することを願って、会員・スタッフ一同頑張っております。

「学ぶことの楽しさ」を味わうとき、言葉で言いつくせない感動があり、そうした心のときめきは、子ども達を育てる原動力であると信じています。

氏家町国際交流協会

本町の国際交流協会は、文化、スポーツ、産業等を通した交流により町民相互の理解と親善を深め、国際平和の維持、促進に寄与することを目的に、平成元年6月に発足しました。

これまでに協会が行ってきた事業を紹介しますと、元年度には、中国上海市から卓球の指導者を招待し本町の小学生、中学生を対象に半年間にわたり指導を受けました。また同市からは少年ピアニストも来町し、演奏会等を通して小学生と交流を行いました。

今年度は、5月に800人の町民を前に、アントン・ウイッキーさんの講演会を開催し好評を博しました。また、5月から来年3月までの予定で、中国浙江省嘉興市から農業研修生3人を招き、本



▲大好評を博した、アントン・ウイッキーさんの講演会

町の各農家でニラ、イチゴ、椎茸の栽培、養豚の研修を通じ、町民と交流を行っています。

6月には、中国無錫市で行われた国際ゲートボール大会に、本町から10名の選手を派遣しました。

10月には、昨年度卓球の指導を受けた子ども達を中国上海市へ派遣し、中国の子供たちと卓球を通して交流を行う事業を計画しております。

旅、こころ

パッケージツアーはもちろん、お客様のニーズにお応えしたオーダーメイドの旅まで、
旅のことならなんでもそろっています。

私たちは、旅する人の心を大切に、もっと楽しい旅をお届けします。

旅する人の気持ちで……新しいJTB。

JTB宇都宮支店

(22) 1800(海外)
0286 (22) 1803(国内)
(22) 1805(団体)

読者の広場

■発想の転換で気軽に楽しさを味わう

最近、私は2人の外国人から誕生会に招かれた。

その一つは、若い独身の青年からで、友達を連れて来てもいいとのことだった。ただし、自分の食物と飲物は持参してほしいと言われた。残念ながら都合が悪くて私は欠席したが、座る場所もないくらいの盛況だったと後で聞いた。

もう一つは、企業に勤める人のパーティーだった。彼の奥さんが、本人に内緒で友人に声を掛け、ピックリさせる楽しい集まりで、私も出席させてもらった。金曜の夜8時から、手作りのチーズケーキとアイスティーだけの簡単なものだった。友人達からのプレゼントは、ささやかだがユーモアあふれる品々だった。なごやかな話と笑いと音楽の素晴らしい夜を過ごし、私は満足であった。

人を招待するとなると、大いに気張って、目いっぱい御馳走を用意したくなるものだが、ちょっとした発想の転換で、こんなに気軽に楽しさが味わえるなんて、実にいいではないか！冠婚葬祭の簡素化を唱える前に、一度試してみてはいかが？

(宇都宮市 鈴木清子)

■情報を手に入れておくと楽しい旅行に

いろいろな目的で海外へ出かける事が増えていく現在、感じることは、国それぞれに経済状況や生活習慣、それに思想などの違いからとまどってしまったり、トラブルたりしてしまうことです。

しかし海外旅行は、未知の世界を知るという期待や希望、それに夢もあります。いろいろな情報があふれている今は、行きたい国の情報を手に入れておくと、わからなくて困ったり、とまどったりするのも、逆に楽しさに変えてくれたりします。

各国の安全情報をTIAで入手することもできます。「郷に入れば郷に従え」という日本の諺のように、その国の生活を体験までいかなくても、見て聞いて自分なりの価値感で判断し感じとれば、少しは国際交流の一端を担うことができたと言えるのではないかと思います。

海外に出て、見知らぬ現地の方に親切にしもらった経験を、多くの方が持っていると思います。その経験を自分の近くにいる外国人に対して同じ様にできれば、もっと国際交流の輪が広がるのではないかでしょうか。（宇都宮市 船山里子）

■私にも話しかけて

私は、日本に日本語を勉強に来て1年になる中国人です。私の悩みは友達ができないことです。

日本人は欧米人が好きなようです。日本語学校の級友にアメリカ人がいますが、学校以外の場所で彼女と一緒にいると、日本人は彼女には話しかけるのですが、私には話しかけてくれません。日本の方ならわかってくださると思いますが、東洋人である私は、自分から人に話しかけるということが苦手なのです。

日本人とお話ししができれば、むしろ、欧米の人達よりもわかりあえる部分が多いのではないかと思うのですが、残念ながら、そうした機会には恵まれません。

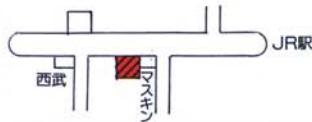
日本語学校には、当たり前ですが、日本人の学生はいないので、教室以外で日本語を使う機会もあまりなく、とても寂しい思いをしています。

(宇都宮市 中国人 女性)

※このコーナーでは、読者のみなさまからのお便りをお待ちしております。

気ままに自由に世界の旅 ポリテイ

自然の心にふれる日本の旅 メイ



—お申込み・お問合せはお電話で!!—

近畿日本ツーリスト

〒320 宇都宮市馬場通り3-1-4

宇都宮支店 ☎0286(33)2141代



国際交流Q&A (外国人の招へいについて)

Q 病院を開業している者ですが、外国から（外国の医師の資格を持つ）医師を招へいしたいと思っています。6月の改正入国管理法に「医療」という在留資格が設けられたと伺いましたので、査証取得のための手続きについて教えて下さい。

A 「医療」ビザは、外国の医師免許を持つ外国人に対して発給されるビザではなく、日本の医師免許を取得している外国人医師に対して発給されるものです。

外国の医師の資格を有していても、日本の医師免許を取得していない者は、日本国内で医療にかかる業務に従事することはできません。もし、日本の医師免許を持たない者が日本国内で医療行為をした場合、処罰されます。

医師国家試験のように、受験資格の規定の中に国籍の制限がなく、外国人でも能力があれば資格・免許の取得が可能です。日本国に資格があればビザ発給の対象になります。

'90国際交流キャンプ in ばとう

8月24～26日に、TIAと馬頭町の共催による「'90国際交流キャンプinばとう」が馬頭町青少年旅行村で開催されました。

世界20カ国から約40名の外国人を招待し、初日は歓迎式とホームステイ、2日目はもちつき、カレーライス作り、花火、すいか割り、体育館でのレクリエーションや交歓会で盛り上がり、3日目は陶芸教室や乗馬などを楽しみました。国際交流の輪が広がったのです！



▲誰もがすぐに仲良くなれます

▶みんなで作ったカレーライスはとてもおいしかったね！

協会日誌(1990. 7. 1～1990. 8. 30)

7. 4 英会話講座開催 (栃木市)
海外技術研修員・県費留学生合同歓迎会
(青年会館)
7. 9 海外技術研修員研修機関配属
- 7.10 国際交流推進大会第2回運営委員会
(協会研修室)
- 7.11 国際交流の集い
(栃木経済交友会と共にセンチュリー平安)
- 7.18 地域国際化協会連絡協議会設立総会
(東京都)
- 7.21～7.23 米国青年政治指導者訪日代表団11名
来県
8. 5～8. 8 県費留学生関西研修旅行
8. 8 第I期日本語講座閉講式 (協会研修室)
8. 9 国際交流推進大会第3回運営委員会
(協会研修室)
- 8.24～8.26 国際交流キャンプ (馬頭町)
馬頭町及び馬頭町国際交流会と共に
- 8.28 アジアの夕べ (佐野市文化会館)
栃木県インドカシミール友好協会と共に

旅のトータルプロデューサー、日本旅行。

国内370ヶ所・海外25ヶ所のネットワーク



日本旅行 宇都宮駅旅行センター

宇都宮市川向町1-23 (JR宇都宮駅2F)
TEL 0286-35-2085

日本旅行 栃木県内旅行コーナー

宇都宮市塙田1-1-20(県庁内)
TEL 0286-23-3470

『あつまれ 地球人!』とちぎインターナショナル・フェスティバル'90

今年初めて開催される『とちぎインターナショナル・フェスティバル』は、在県外国人と県民が一堂に集い、楽しく一日を過ごすことにより、相互の理解と交流を深めようとするものです。

『あつまれ 地球人!』のキャッチフレーズの下、『魅せる』『ふれあう』『まなぶ』『ぐろーばる』の4つのゾーンごとに盛り沢山の企画で行います。県内の交流活動紹介のパネル展や留学生のスピーチは、あなたに新らたな発見と可能性を示唆することでしょう。また、外国舞踊やドリル演奏、琴演奏等のアトラクションも行われます。

緑と芝のジャーテンの会場に、ご家族連れでどうぞ。多くの方の参加をお待ちしています。

▶期日=10月7日(日) ▶場所=あけぼの公園
(宇都宮市文化会館隣り) ▶時間=10:00~15:00 ▶内容=“魅せる”ゾーン～外国舞踊・ドリル演奏・琴演奏・野だて等 “ふれあう”ゾーン～各國音楽、料理の紹介・ゲーム・トークショー “まなぶ”ゾーン～パネル展示・ビデオ上映等 “ぐろーばる”ゾーン～民芸品の展示即売等



'90 Tochigi International Festival

The first International Exchange Festival will be held in October.

Various programs are in the planning stages such as; folk dances, musical performances including Koto concert and band performance, foreign dishes, games, talk shows, various exhibits, folk art selling, etc...

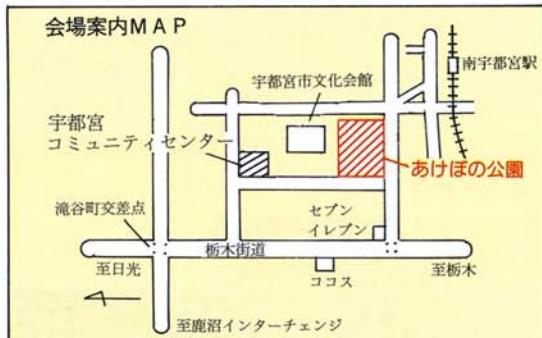
We hope that both foreign and Japanese residents in Tochigi take this occasion to make many friends.

Join us and have fun together! Meet the people!

Date: Sunday, October 7, 1990

Time: 10:00 a.m. to 3:00 p.m.

Place: Akebono Koen (Akebono Park=near the Utsunomiya-shi Bunka Kaikan)



編集後記

● 8月末に開催された「第2回アジアの夕べ～夢浪漫・インド～」は、多くの観客が来場し大成功を収めました。インドの撥弦楽器“シタール”的演奏や古典舞踊“カタック”的踊りに観客はうつとり。「一度インドへ行ってみたい！」と思った人も多かったことでしょう。

● TIAが次にお贈りするイベントは、上記の“とちぎインターナショナル・フェスティバル'90”です。あけぼの公園の芝生の上で、外国人と一緒に楽しんで、身近な国際交流の輪を広げましょう！次号で、この模様をカメラ・ルポいたします。

● ご案内図

